

# 古代の狭山

## 土器は語る



平成24年 **3月10日(土)~6月3日(日)**

◆主 催：狭山市立博物館 ◆開館時間：9時~17時 (入館は16時30分まで)

 **狭山市立博物館**

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1  
TEL04-2955-3804 FAX04-2955-3811

※ご来館の際は、電車・バスのご利用が便利です。

<http://www.city.sayama.saitama.jp/manabu/museum/>



区 分	入館料
一 般	150円 (100円)
高校生・大学生	100円 (60円)
小学生・中学生	50円 (30円)

※( )内は20名以上の団体料金 ※土曜日は小・中学生は無料です。  
※国際博物館の日にちなんで、5/15~5/20は無料

休館日	3月	4月	5月
	12日、19日、21日、23日	9日、16日、23日、27日	1日、7日、14日、21日、25日、28日

※再生紙を使用しています

# 古代の狭山 土器は語る

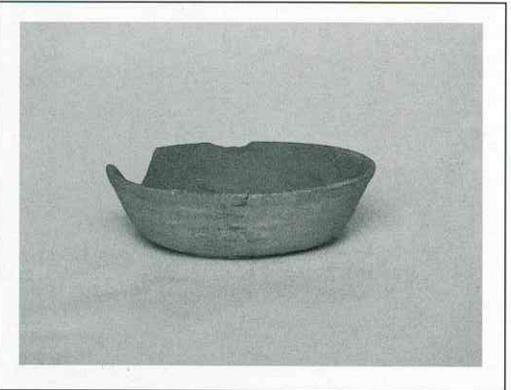
## 開催にあたって

昭和44年に今宿遺跡の発掘調査をしてから今年で43年がたちました。この間にたくさんの遺跡が調査され、資料が蓄積されています。それらの資料を分析して狭山の当時の様子を復元してみようというのが趣旨です。

狭山で出土した土器を分析し、基本となる年代感を示してから狭山市の遺跡へ供給していた窯を特定し、年代毎に供給元窯の変遷を概観します。もちろん狭山だけで歴史が完結しているものではありません。そこで近県各地の資料を展示して比較します。

土器を通して狭山の古代を感じてください。

平成24年3月 狭山市立博物館



# 古代の狭山

土器は語る



会期：平成24年3月10日（土）～6月3日（日）

狭山市立博物館

## 開催にあたって

昭和44年に今宿遺跡の発掘調査をしてから今年で43年がたちました。この間にたくさんの遺跡が調査され、資料が蓄積されています。それらの資料を分析して狭山の当時の様子を復元してみようというのが趣旨です。

狭山で出土した土器を分析し、基本となる年代感を示してから狭山市の遺跡へ供給していた窯を特定し、年代毎に供給元窯の変遷を概観します。もちろん狭山だけで歴史が完結しているものではありません。そこで各地の資料を展示して比較します。

土器を通して狭山の古代を感じてください。

平成24年3月 狭山市立博物館

### ◆協力機関

本企画展開催にあたり、次の機関にご協力を賜りました。心よりお礼申し上げます。

- ・入間市教育委員会
- ・鳩山町教育委員会
- ・富士見市立水子貝塚資料館
- ・三芳町立歴史民俗資料館
- ・平塚市博物館
- ・袖ヶ浦市郷土博物館
- ・所沢市埋蔵文化財センター
- ・埼玉県埋蔵文化財調査事業団
- ・群馬県埋蔵文化財調査事業団
- ・栃木県埋蔵文化財センター
- ・和洋女子大学文化資料館



### 凡 例

- 1 本書は平成24年3月10日から6月3日までを会期とする企画展「古代の狭山」のパンフレットである。
- 2 図版は展示資料の一部であり、図版掲載と展示の順序は必ずしも一致していない。
- 3 この企画展は、小淵良樹・上田知佐子・館野鉄夫が担当した。

◆須恵器(すえき)

土師器(はじき)に対比して用いられます。古墳時代や奈良・平安時代に使われた容器です。土師器が素焼きであることと異なり、窯により還元焰かんげんえんで焼成され、灰色や黒灰色・青鼠色あおねずみいろなどで質も比較的堅緻です。五世紀頃から大陸の陶工技術の導入により発達したもので、器形も坏つぎ・皿つぎ・鉢つぎ・壺かめなどがあります。用途は食器・調理・貯蔵用などです。

本来は陶器(すえのうつわもの)といわれたもので、延喜式えんぎしき((延長5年)927年)には和泉国からの税としての調に陶器の名があります。

◆土師器(はじき)

須恵器と対比して用いられます。古墳時代やその後に存続した素焼きの土器です。弥生土器の系統を受けたもので、赤褐色や暗褐色を呈しています。坏つぎ・皿つぎ・甕つぎなどがあります。用途は食器・調理などです。

延喜式「雑作手ぞうさしゅ」に「土師器にえはじき 贗土師器」との記述があります。

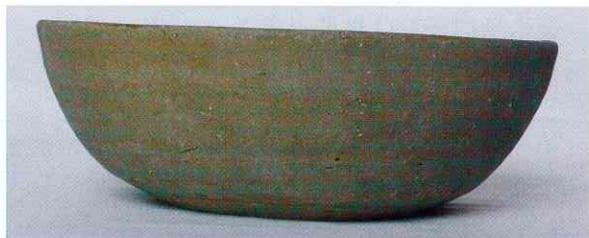
◆須恵器坏(すえきつぎ)

現代のご飯を食べるときのお茶碗に相当します。口径12センチメートル前後です。時期により大きさが変化します。住居跡からは普遍的に出土します。



◆須恵器碗(すえきわん)

坏より大型の土器を指します。口径17センチメートル前後です。坏があるから区別する名称で、時代が新しくなり坏が大型になると区別が無くなります。



◆須恵器蓋(すえきふた)

坏や碗にかぶせて使う器です。



◆須恵器皿(すえきさら)

平たい器です。



◆須恵器甕(すえきかめ)

大型で口は広く、胴部は大きく、底にいくにしたがってすぼまり、平底となります。貯蔵を目的とする容器です。



◆須恵器鉢(すえきはち)

大型で口のところに最大径がくるものが多い調理用の容器です。逆台形がほとんどですが、特殊品として半球形もあります。



◆須恵器壺(すえきつぼ)

球形やこれに近い形をした胴部に細頸(ほそくび)の口をつけた形のもので、頸が短いものは短頸壺(たんけいこ)とよびます。



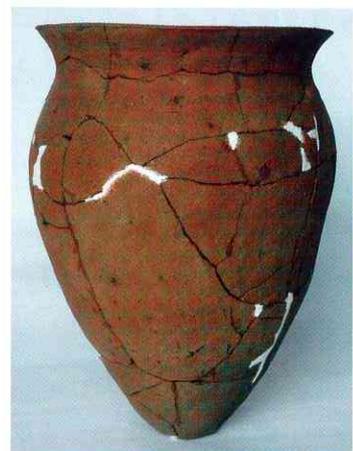
◆土師器坏(はじきつき)

食事用の器です。埼玉県では、底が丸い形のものが多く見られます。狭山市では須恵器坏の生産地(入間市 東金子窯跡群)が近いため、坏はほとんど須恵器が使われ土師器坏の出土量はわずかです。



◆土師器甕(はじきかめ)

煮炊き用です。火の通りが良いように非常に薄く作られています。壊れやすいのか住居跡からはたくさんの破片が出土します。



## ● 狭山市の奈良・平安時代の遺跡

狭山市には67カ所の遺跡があります。奈良・平安時代の遺跡は入間川を挟んだ兩岸の台地の上に所在しています。今回の企画展では柏原の宮ノ越遺跡・広瀬の今宿遺跡・笹井の宮地遺跡・奥富の揚櫓木遺跡の土器を展示しています。

### ◆宮ノ越遺跡（みやのこしいせき）

埼玉県狭山市柏原字宮ノ越に所在する奈良・平安時代の遺跡です。昭和53年に埼玉県遺跡調査会により発掘調査が行われ、奈良・平安時代の<sup>たてあなじゅうきよあと</sup>竪穴住居跡65軒、<sup>ほったてばしらたても</sup>掘立柱建物跡18棟、<sup>ふんぼ</sup>墳墓4基が発見されました。その後、数次にわたる発掘調査が行われています。

この遺跡は、入間川左岸の台地上に位置しています。遺跡の規模は、640×390メートルと広大です。

### ◆今宿遺跡（いまじゅくいせき）

埼玉県狭山市広瀬台1丁目（旧大字上広瀬字今宿）に所在する縄文時代、古墳時代と奈良・平安時代の遺跡です。昭和44年に埼玉県遺跡調査会により発掘調査が行われ、縄文時代の屋外炉1基、古墳跡1基と奈良・平安時代の竪穴住居跡48軒が発見されました。その後数次にわたる発掘調査が行われています。

この遺跡は、入間川左岸の台地上に位置しています。標高は65メートルほどで、台地下との比高差は14メートルを測ります。遺跡の規模は、460×300メートルです。

### ◆揚櫓木遺跡（うつきいせき）

埼玉県狭山市大字上奥富字揚櫓木下に所在する縄文時代と奈良・平安時代の遺跡です。昭和56年に狭山市教育委員会により発掘調査が行われ、縄文時代の竪穴住居跡11軒と奈良・平安時代の竪穴住居跡79軒、掘立柱建物跡12棟、<sup>どこうぼ</sup>土壇墓3基が発見されました。その後数次にわたる発掘調査が行われています。

この遺跡は、入間川右岸の台地縁辺部で西武新宿線新狭山駅の西約700メートルの地点に位置しています。遺跡の規模は、600×450メートルと広大です。

## ● 武蔵国をとりまく国の遺跡

### ◆雷塚遺跡（らいづかいせき） 上総国

千葉県袖ヶ浦市神納字雷塚に所在する遺跡です。平成3・4年に君津郡市文化財センターにより発掘調査が行われました。旧石器時代から中世までの遺構が発見されました。奈良・平安時代では竪穴住居跡103軒・掘立柱建物跡9棟・柵列跡11基などが発見されました。

### ◆国府台遺跡（こうのだいいせき） 下総国

千葉縣市川市大字国府台に所在する古代の下総国の国府跡と推定される遺跡です。平成7年から4次にわたり和洋学園により発掘調査が行われ、奈良・平安時代の竪穴住居跡71軒、掘立柱建物跡11棟、道路跡、溝跡が発見されました。

### ◆多功南原遺跡（たこうみなみはらいせき） 下野国

栃木県河内郡上三川町大字多功字南原に所在する遺跡です。平成2年から平成6年にわたり栃木県埋蔵文化財センターにより発掘調査が行われ、古墳時代と奈良・平安時代の竪穴住居跡220軒、掘立柱建物跡120棟、井戸跡55基、土壇120基が発見されました。

### ◆上野国分僧寺・尼寺中間地域遺跡（こうずけこくぶんそうじ・にぢちゅうかんちいきいせき） 上野国

群馬県前橋市元総社に所在する遺跡です。昭和55年から59年にかけて群馬県埋蔵文化財調査事業団により発掘調査が行われました。縄文時代以後、室町時代にわたる遺跡です。主な遺構は竪穴住居跡1334軒・土壇墓・井戸・中世寺院・中世館などが発見されました。

### ◆中原上宿遺跡（なかはらかみじゅくいせき） 相模国

神奈川県平塚市中原上宿に所在します。昭和53年に平塚市中原上宿遺跡調査団により発掘調査が行われ、奈良・平安時代の竪穴住居跡87軒・掘立柱建物跡8棟・土壇190基・道路跡7条・土壇墓38基・井戸跡4基が発見されています。

## ● 窯 跡

### ◆前内出窯跡群（まえうちでかまあとぐん）

埼玉県入間市大字仏子に所在しています。東金子窯跡群の一群にあります。昭和47年に埼玉県遺跡調査会により発掘調査が行われ、4基の須恵器窯跡が発見されました。

### ◆八坂前窯跡（やさかまえかまあと）

埼玉県入間市大字新久字八坂前に所在しています。東金子窯跡群の一群にあります。昭和40年と55年に入間市八坂前窯跡発掘調査団により発掘調査が行われ、6基の須恵器と瓦を焼成した窯跡が発見されました。

### ◆天沼遺跡（あまぬまいせき）

埼玉県比企郡鳩山町大字泉井字天沼に所在しています。広義には南比企窯跡群の一群にあります。平成7年に鳩山町教育委員会により発掘調査が行われ、2基の須恵器窯跡・竪穴建物2棟・灰原1カ所が発見されました。

### ◆新開遺跡（しんかいせき）

埼玉県三芳町竹間沢字新開に所在します。昭和51年から55年にかけて三芳町教育委員会により発掘調査が行われ、瓦や須恵器を焼いた窯4基と工房跡4基が発見されています。

### ◆森坂遺跡（もりさかいせき）

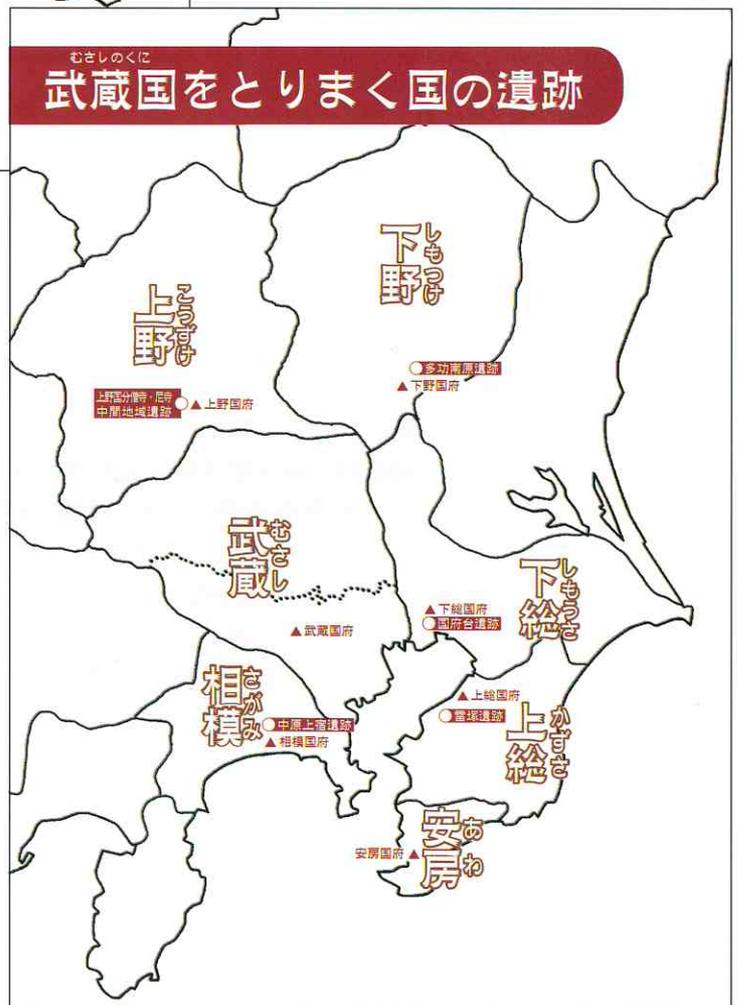
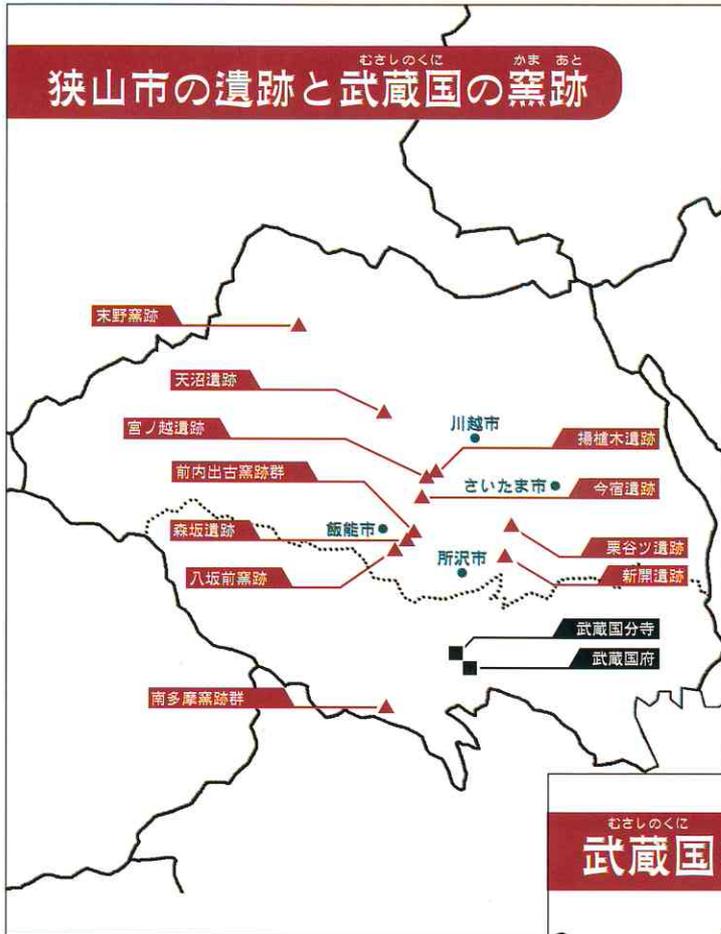
埼玉県入間市上小谷田2丁目678番地に所在しています。東金子窯跡群東端の外側に位置しています。

平成4年に埼玉県埋蔵文化財調査事業団により発掘調査が行われ、平安時代の土器焼成遺構3基、土器捨て場1カ所、土壇4基、集石遺構1カ所、粘土採掘坑群、住居跡1軒などが発見されました。

### ◆栗谷ツ遺跡（くりやついせき）

埼玉県富士見市針ヶ谷1丁目に所在しています。

昭和54年に富士見市教育委員会により発掘調査が行われ、平安時代の須恵器窯跡1基が発見されました。



## 展示品数量表

- 埼玉県入間市 八坂前窯跡 入間市教育委員会所蔵  
八坂前窯跡 灰原 坏26点 蓋4点 甕1点 皿5点
- 埼玉県入間市 前内出窯跡 埼玉県埋蔵文化財調査事業団所蔵  
前内出窯跡 1号窯 須恵器坏3点  
前内出窯跡 2号窯 須恵器坏17点
- 埼玉県入間市 森坂遺跡 埼玉県埋蔵文化財調査事業団所蔵  
森坂遺跡 1号土器焼成遺構 坏1点  
2号土器焼成遺構 坏7点  
土器捨て場 坏4点
- 埼玉県鳩山町 天沼遺跡 鳩山町教育委員会所蔵  
天沼遺跡 B区1号窯 坏6点 高台付坏1点 壺1点 蓋3点 佐波利模倣蓋1点 佐波利模倣壺1点  
天沼遺跡 B区谷灰原 坏10点 蓋7点  
新沼遺跡 A区Tr 融着土器3点  
柳原遺跡 壺1点
- 埼玉県三芳町 新開遺跡 三芳町歴史民俗資料館所蔵  
須恵器坏5点
- 埼玉県富士見市 栗谷ツ遺跡 富士見市水子貝塚資料館所蔵  
須恵器坏5点
- 栃木県下野市 多功南原遺跡 栃木県埋蔵文化財調査センター所蔵  
須恵器坏8点 須恵器高台付坏1点 須恵器蓋2点 須恵器壺1点 土師器甕3点
- 千葉県袖ヶ浦市 雷塚遺跡  
坏9点 壺1点
- 神奈川県平塚市 中原上宿遺跡 平塚市博物館所蔵  
土師器坏10点 土師器甕1点
- 千葉県市川市 国府台遺跡 和洋女子大学文化資料館所蔵  
須恵器坏8点 土師器坏1点 土師器甕1点
- 群馬県 上野国分僧寺・尼寺中間地域遺跡 群馬県埋蔵文化財調査事業団所蔵  
坏14点 蓋6点 甕3点 長頸瓶 3点
- 埼玉県狭山市 宮ノ越遺跡 埼玉県埋蔵文化財調査事業団所蔵  
灰釉陶器高台皿1点 灰釉陶器長頸壺1点 灰釉陶器壺1点 灰釉陶器壺1点 須恵器コップ1点  
須恵器蓋1点 須恵器高台付皿1点 須恵器高台付壺1点 須恵器高台付坏1点 須恵器壺4点  
須恵器坏42点 須恵器甕1点 土師器坏1点 土師器甕5点 土師質須恵器高台付壺4点  
土師質須恵器壺2点 土師質須恵器坏2点 かわらけ2点
- 埼玉県狭山市今宿遺跡 狭山市教育委員会所蔵  
須恵器坏56点 須恵器壺5点 須恵器高盤1点 須恵器蓋3点 須恵器皿3点 須恵器鉢2点  
須恵器甕2点 須恵器甗1点 須恵器薬壺1点 土師器坏1点 土師器甕2点 灰釉陶器壺1点  
灰釉陶器皿2点 灰釉陶器平瓶1点
- 埼玉県狭山市揚櫃木遺跡 狭山市教育委員会所蔵  
須恵器坏41点 須恵器壺6点 須恵器蓋1点 須恵器皿1点 土師器甕2点 土師器台付甕1点  
土師器甗1点 灰釉陶器壺1点 灰釉陶器皿1点

※資料は展示替え等により展示していない場合があります。